

社会を創る、未来へつながる。



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

情報データ科学部

School of Information and Data Sciences
Nagasaki University

情報データ科学部が目指すもの

学部長 西井 龍映

情報データ科学部は、情報データ科学の基礎を身につけた「自ら考え行動し、成長が期待できる人」、「社会が求める、国や地域にとって宝となるべき人」を養成することを目標とし、情報科学の工学的手法およびデータ科学によるデータの科学的把握により、ビッグデータから新しい知を獲得し、具体的な課題解決につなげられる人財を養成するための教育研究に取り組んでいます。現代において情報やデータ（証拠、エビデンス）に基づいた合理的な意思決定は、社会人にとって必須のスキルであり、合理的意思決定に基づくソフト・ハードの開発が、我々の生活を便利に豊かにしてくれます。

また、本学部は長崎大学の全学生向けにデータリテラシー教育を、本学部生向けにはデータサイエンス教育プログラムを提供しています。これらは文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度により、それぞれリテラシーレベルおよび応用基礎レベルプラスの認可を受けました。このような充実した教育を受けた本学部の学生は、「実社会課題解決プロジェクト」（PBL、高校での探究科目の大学版）で30社を超える企業や長崎県・市と様々な課題の解決に取り組み、種々の社会的提案がコンテストで優勝するなど、学びの成果が着実に表れています。さらにタイやインドとの学生・教員の相互派遣による国際交流も活発化しています。

2024年は本学部にとってさらなる飛躍の年となります。4月には文系型入試による新入生を受け入れます。また情報データ科学、工学、水産学、および環境科学を総合的に研究する総合生産科学研究科を開設し、本学部一期生が大学院で更に専門性を高めていきます。加えて2025年からの学校推薦型選抜への女性枠導入で本学部の多様性が一層強化されます。本学部の絶え間ない成長にご期待ください。



情報データ科学部の特色

描いた将来に合わせて選択できるカリキュラム

- 1年次で基礎を学んだ後、2年次から「データサイエンスコース」または「インフォメーションサイエンスコース」を選択します。
- 選択したコースに関わらず、興味のある科目を選択でき、幅広い分野を修得できます。

医療と観光におけるビッグデータの活用

- 長崎大学の強みである医療・保健分野に蓄積されたデータを用いて、統計的機械学習を基にした解析を行い、医療の支援を行います。
- 長崎には多数の観光客が訪れます。統計学に基づくビッグデータ分析により、彼らの行動の特徴を抽出し、自治体および産業界の発展に繋がります。

社会や企業の問題解決に挑む「実社会課題解決プロジェクト」

- 自治体や地元企業と連動し、在学中から実践的な課題に取り組み、問題解決力やコミュニケーション能力を育成します。
- 地元企業の活性化、地域問題の解消など、学生一人ひとりに課題解決の実体験を得られるチャンスがあります。

養成する人財

様々な分野における中核人財として社会に貢献

情報データ科学部では、情報科学やデータ科学そのもの、またそれらを活かすあらゆる学問領域に興味を持つ多様な学生を歓迎します。この環境で、ビッグデータ解析や医療情報解析に精通した「データサイエンティスト」、人工知能を活用しITビジネスに精通した「インフォメーションサイエンティスト」などの実践的な人財を育成します。

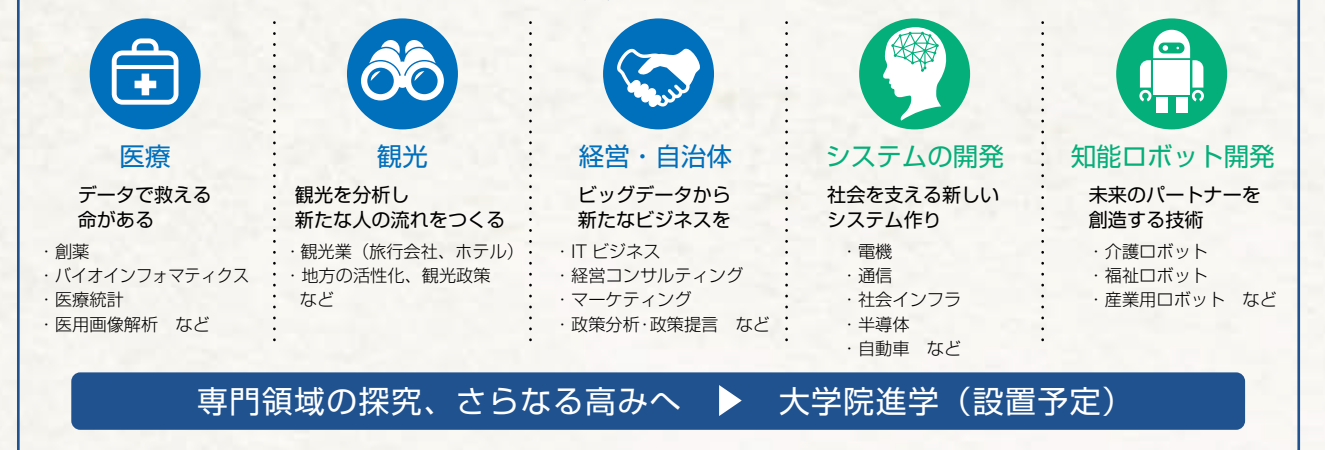
※人財…成長が期待できる人、企業が求める人、高度なITスキルを持つ、国や地域にとっての宝となるべき人

カリキュラム構成



卒業後の進路 様々な分野での活躍 未来の社会創造に貢献

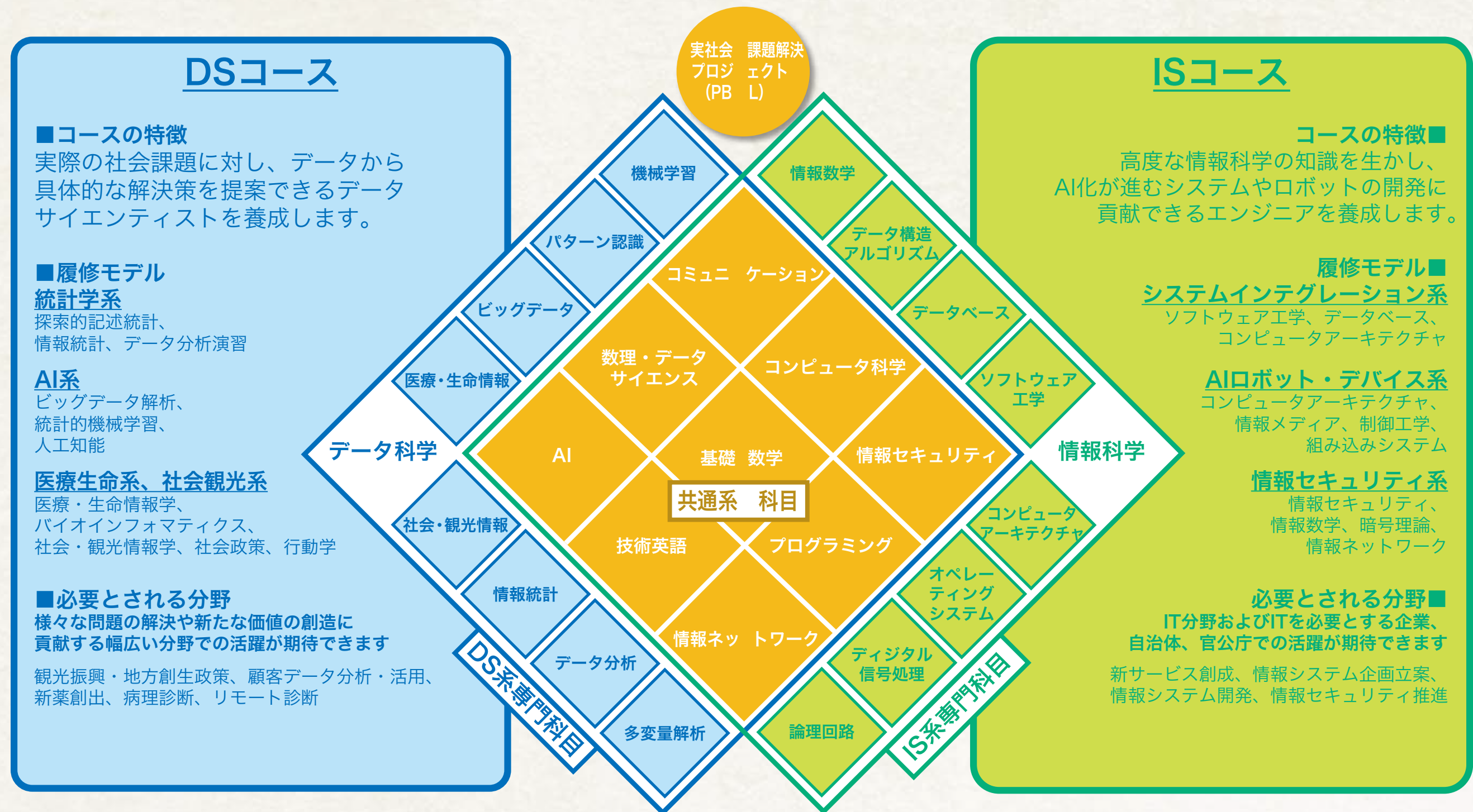
広がる次へのステージ



カリキュラム構成・特徴

基礎は同じ、専門の 味付けがちょっと違う

- 共通科目では、数学的思考・スキル、コンピュータやプログラミングの基礎、コミュニケーション関連科目で他者との協働などを学びます。これらの科目は2年次に選択するコースに関わらず、全ての学生に必要なとなります。
- 共通科目に加え、必要に応じて「AI系科目（DSコース必修）」「情報セキュリティ科目（ISコース必修）」を選択することができます。
- 2年次に選択するコースで、それぞれに必要な知識・技術を修得するための科目を学び、専門性を高めます。



カリキュラムマップ

情報データ科学部のカリキュラム構成は、共通科目、データサイエンスコース(DS)、およびインフォメーションサイエンスコース(IS)の2コースの科目群で構成され、1年次は全員、専門教育の履修に必要となる「基礎数学」「情報学基盤」および「コミュニケーション」科目で基礎を固めて、1年次末に所属コース(DSまたはIS)を選択し、それぞれのコースに設定された科目を履修します。

なお、情報データ科学部の開講科目は一部を除き、所属コースに関わらず選択履修ができるため、自分※令和6年度入学者のカリキュラムについては、一部改定を予定しています。

凡例： 両コース共通：必修 DSコース必修：IS選択 ISコース必修：DS選択 両コース共通：選択

	1年次				2年次				3年次				4年次			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
DS					応用系専門科目 (医療・生命・社会・観光)		医療・生命情報学Ⅰ 社会・観光情報学Ⅰ		医療・生命情報学Ⅱ 社会・観光情報学Ⅱ		医療・生命情報学Ⅲ 社会・観光情報学Ⅲ		※DSを選択した学生は応用系専門科目の少なくとも1系統の科目を必修とする			
			統計学系科目		探索的記述統計 基礎データ分析演習		情報統計学 応用データ分析演習 多変量解析				数理統計学	ベイズ統計学				
共通科目	▼コミュニケーション							AI系科目	ビッグデータ分析 ビッグデータ分析演習	パターン認識と機械学習 パターン認識と機械学習演習			人工知能 人工知能演習			
	情報メディア論				安全工学		技術英語Ⅰ		デザイン情報学Ⅰ 技術英語Ⅱ	デザイン情報学Ⅱ 技術英語Ⅲ			技術英語Ⅳ			
	実社会課題解決 プロジェクトA(PBL)				工学倫理				プロジェクト研究(インターンシップ)				経営管理 産業経済学			
					実社会課題解決プロジェクトB(PBL)				実社会課題解決プロジェクトC(PBL)				実社会課題解決プロジェクトD(PBL)			
	▼基礎数学															
卒業研究	線形代数学Ⅰ 微分積分学Ⅰ	線形代数学Ⅱ 微分積分学Ⅱ					微分積分学Ⅲ									
		確率・統計 数理・データサイエンス														
	▼情報学基盤(コンピュータ科学)															
	情報基礎 数学	プログラミング 演習Ⅰ			情報理論 プログラミング演習Ⅱ	オートマトンと 言語理論	コンパイラ		認知システム論A 画像処理	認知システム論B 音響音声工学						
	情報科学技術 コンピュータ入門	プログラミング 概論			グラフ理論と最適化 情報ネットワークⅠ	情報 ネットワークⅡ		情報セキュリティⅠ オペレーティングシステムⅠ	情報セキュリティⅡ オペレーティングシステムⅡ	HCⅠ マシンビジョン						
IS					情報セキュリティ系 科目		情報数学Ⅰ 情報数学Ⅱ		情報数学Ⅲ 情報数学Ⅳ		情報セキュリティⅢ ネットワークセキュリティ					
					情報技術実践系 科目		プログラミング演習Ⅲ 情報工学実験Ⅰ データ構造とアルゴリズム		プログラミング演習Ⅳ 情報工学実験Ⅲ プログラミング言語論		情報工学実験Ⅳ					
					応用系専門科目 (IoT・SE)		ディジタル 信号処理Ⅰ 論理回路	ディジタル 信号処理Ⅱ コンピュータ アーキテクチャⅠ	データベース 組み込み システム	ソフトウェア 工学	並列分散処理 制御工学	コンピュータ アーキテクチャⅡ				

1年間のスケジュール(予定)	
4月	●入学式 ●オリエンテーション ●健康診断 ●前期・第1Q授業開始
5月	●開学記念日
6月	●第2Q授業開始
7月	●オープンキャンパス
8月	●前期定期試験 ●夏季休業
9月	●後期・第3Q授業開始
10月	●中間発表会(4年次)
11月	●長大祭 ●第4Q授業開始
12月	●冬季休業
1月	●卒業研究配属説明会・就職説明会(3年次)
2月	●卒業論文発表会(4年次) ●履修コース選択願提出(1年次) ●後期定期試験
3月	●履修コース決定(1年次) ●卒業式・学位記授与式 ●卒業研究着手者・配属研究室決定(3年次) ●春期休業

※上記の専門教育科目のほか、全学教養教育科目(30単位)の修得が必要です。

「実社会課題解決プロジェクト」 で実践力をつけよう



情報データ科学部には、「実社会課題解決プロジェクト」という科目が設置されており、1年次から4年次までの4年間、体験的に学ぶことができます。自治体や地元企業と連携し、実際の社会における課題を発見し、解決していくことを目指します。また、本科目を通して「創造性」や「コミュニケーション力」、「批判的思考力」など、情報社会で活躍する人財に普遍的に必要なとされる力を身につけます。情報データ科学部で身につけた力を活かして、長崎から発信するイノベーションを一緒に創造していきましょう。

参画事業者・自治体・企業(五十音順)

■株式会社インテジテクノスフィア
■NTT西日本長崎支店
■NBC長崎放送株式会社
■カラビナテクノロジー株式会社
■京セラコミュニケーションシステム株式会社
■株式会社クリーン・マット
■Connectiv株式会社
■株式会社システック井上
■株式会社 C&G システムズ
■株式会社シーエーシー
■NPO法人 Seamless

■株式会社島原観光ビューロー
■株式会社セイノー情報サービス
■株式会社ゼンリン
■株式会社デンソーウェーブ
■東京海上日動火災保険株式会社
■(一社)長崎県eスポーツ連合
■長崎県立長崎図書館・ミライ on 図書館
■株式会社長崎再興
■長崎市産業雇用政策課
■(公財)ながさき地域政策研究所
■長崎トヨペット株式会社

■長崎文化放送株式会社
■株式会社ニーズウェル
■有限会社西九州メディア
■日本コンピュータダイナミクス株式会社
■有限会社白羊社
■ビーウィズ株式会社
■株式会社メディアオーバスプラス
■ユニコネクト株式会社
■株式会社ラック
ほか



学生の声



竹下七海(3年生)

A1 以前は書けなかったプログラムが書けるようになったとき、成長を感じます。

A2 「実社会課題解決プロジェクト」の授業のように、実際の社会における課題を仲間と協力して解決し、よりよい社会づくりに少しでも貢献出来たらいいと思っています。

A3 好奇心が強い人、コンピュータの内部に興味がある人

A4 2年生からISコースとDSコースに分かれるのですが、どちらのコースでも属していないほうのコース向けの授業もとることができるのが大きな魅力だと感じます。



阿比留志功(2年生)

A1 プログラミングの基礎を学べたことで、自分のやってみたかったゲーム開発やウェブサイトの作成など様々なことをやってみることができるようになりました。

A2 将来はクリエイターになりたいので、授業で習ったことをきっかけに興味のある内容には自分で調べながら様々なことに触れていきたいです。

A3 今は何をしてもこの学部で学ぶことがどこかで関わってくると思うのでジャンルを問わず新しいことが好きな人は楽しく学べると思います。

A4 私はISコースに進みましたがDSコースにも魅力があり、最初の一年間でしっかり吟味できることがとてもありがたく、実際に選ばなかったコースの授業も受けられることです。



則松恒喜(4年生)

A1 統計的な分析手法を理解したうえで、データの加工・分析を行えるようになりました。

A2 自分は就職を考えているので、就職先の企業で画像認識や時系列解析の分野で学んだ知識を活かしていきたいと思っています。

A3 統計的な手法を用いたデータ分析や機械学習などのデータサイエンスに関する知識を幅広く学びたい人におすすめです！

A4 地域の企業の方々と共同でプロジェクトを行う、「実社会課題解決プロジェクト」という講義を受講できるのが魅力の一つです。テーマ次第では、企業さんが持つ実データを分析することができるなど、実践的な経験を積むことができます。

卒業後の進路



データサイエンスコース

社会・観光情報系

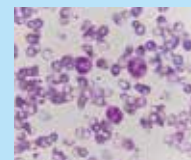
データに基づく観光振興政策、地方創生政策、旅行代理店業界、新幹線活用観光政策



データに基づく観光振興政策

医療・生命情報系

診断アウトソーシング、新薬創出ベンチャ、リモート診断サービス、ヘルスツーリズム業界



AIによる病理診断



ゲノム解析による新薬開発

インフォメーションサイエンスコース

システムエンジニア(SE)系

ロボット・IoTを活用した新サービス創成事業
情報産業の振興に関する事業
情報セキュリティ産業、情報システム開発産業



ソフトウェア開発

IoT系

Robot Process Automation 適用産業、航空宇宙産業、土木・建設業界、造船産業、海洋産業



人工知能型ロボット開発



組込み機器開発

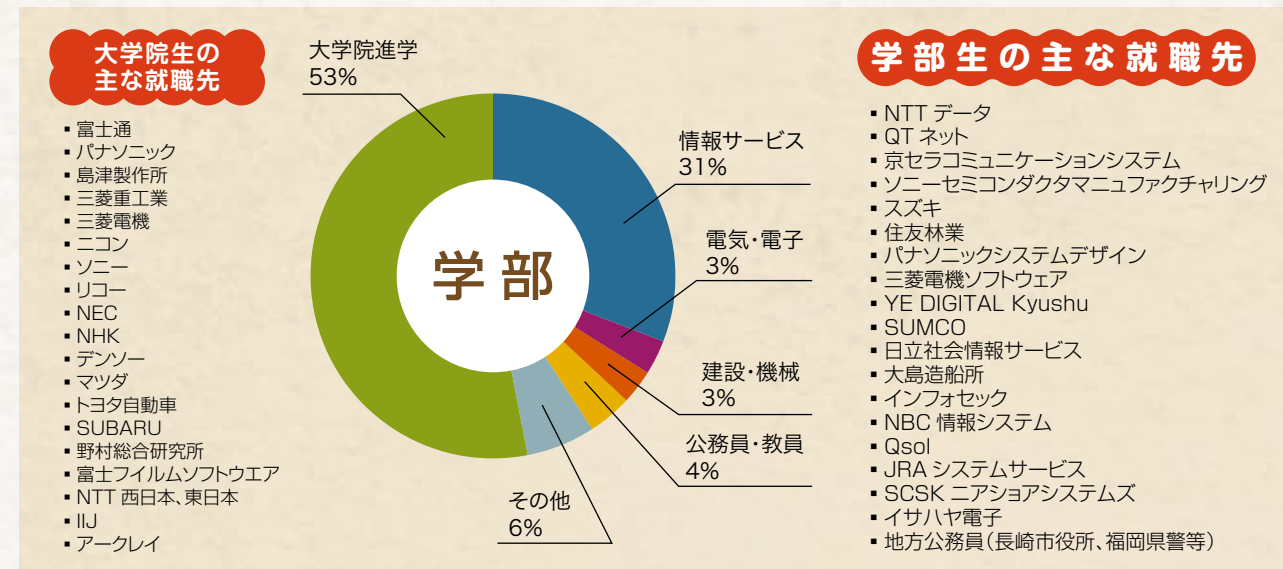
卒業後の進路

情報データ科学部(令和5年4月1日現在、大学院工学研究科情報工学コースへの求人を含む)

求人数 216件(うち推薦制度あり186件)

主な業種 ICT/ITシステム、医療機器、ゲーム・エンタメ、住宅設備・建築設計、電機・半導体、運輸・交通、自動車・航空宇宙・防衛装備、エネルギー など

工学部・大学院工学研究科情報工学コース(2020-2022年度卒業生の統計および実績)



教員紹介



学部長・教授
西井 龍映
【統計科学、データ科学、環境モデリング、
遺伝育種科学】

自然界や企業活動はデータの宝庫です。そこの課題解決のため統計学や機械学習の手法を利用し開発することが研究目的です。データ科学の醍醐味は種々の課題に対応できるところです。



副学部長・教授
喜安 千弥
【パターン情報処理、パターン認識、画像
情報処理、計測工学】

画像などのデータに含まれるパターン情報を、いるるな方法で処理して利用する研究をしています。医療・工業・地球環境など、さまざまな分野への応用を目指しています。



副学部長・教授
全 炳徳
【リモートセンシング、写真測量、GIS及び
都市計画】

地球表面を宇宙から観測するリモートセンシング技術により、土地被覆や地盤の動き、海や湖の水質などを監視しています。普通のカメラによる写真からも情報を解析し、有用情報を抽出しています。



教授
植木 優夫
【統計科学、生物統計学、遺伝統計学】

遺伝子や生活習慣などの複雑で多様な生物医学データから、データ駆動で疾患リスクの予測や新たな因子を発見するための統計手法を開発しています。



准教授
酒井 智弥
【高次元データ科学、パターン認識、機械
学習、信号処理】

データの本質を見抜く「スパースモデリング」とその医工学への応用を研究してきました。さらに深層学習と融合させ、今までの科学や人の知識を生かせる本当のデータ科学を開拓したいです。



准教授
瀬戸崎 典夫
【教育工学、科学教育、ユーザーインタフェース】

VR 技術を活用した学習コンテンツを開発し、その効果を検証します。また、学習者にワクワク感を提供するだけでなく、学生さんたち自身がワクワクしながら研究し、学ぶことを大切にしています。



准教授
高橋 将宜
【統計科学、計量政治学、統計的因果推論、
欠測データ】

長崎県への観光客を増やすには、どうすればよいでしょうか？ある要因 Y（結果）を変化させるには、別の要因 X(原因)を操作します。データから因果関係（原因と結果の関係）を推測する方法を研究しています。



准教授
原澤 隆一
【計算代数、暗号理論、整数論】

情報を安全に通信・処理するためには、暗号技術が必要不可欠です。そして、数学の理論を基にした暗号方式が多数存在します。暗号への応用を視野に入れ、計算機の側面から数学を研究しています。



教授
尾崎 友哉
【組込みシステム・ネットワーク、HMI(Human
Machine Interaction)、デザイン思考】

組込システムの技術を中心に、より少ないセンサで効率よくデータを収集するデータ収集・分析手法や、人間の特性を考慮したジェスチャー操作や AR 操作などのユーザインタフェースを研究しています。



教授
金谷 一朗
【メディア芸術・感性情報学・デザイン学・
文化財科学・文化人類学】

私達は情報データ科学の力を使って、誰もが触れ合える未来のアートを創ったり、人が造った一番古い建物であるエジプトのピラミッドの謎を調べたりすることで、人と物の関係を探求しています。



教授
小林 透
【知能ロボット、Web 技術、IoT、人工知能、
情報セキュリティ】

IoT と AI を融合した知能ロボットの研究をしています。例えば、認知症予兆検知ロボット、アオコ自動除去ロボット、沖合養殖ロボット、建物内ナビゲーションロボット等の研究をしています。



教授
柴田 裕一郎
【リコンフィギャラブルコンピューティング、
コンピュータアーキテクチャ】

コンピュータそのものの仕組みに興味があり、柔軟で高効率な「やわらかいコンピュータ」の実現に向け研究しています。皆さんも自分の手とアイデアで新しいコンピュータを造ってみませんか？



准教授
藤村 誠
【AR・VR 応用、画像処理、福祉工学】

VR、AR の技術が一般的になり、多種多様な応用が模索されています。私たちはリハビリテーション医療の応用を研究しています。また、画像・映像コンテンツの電子透かしについて研究しています。



准教授
松本 拡高
【バイオインフォマティクス、ゲノム生物学、
機械学習】

生命科学における実験技術の進歩は目覚ましく、大規模かつ多様なデータが計測されるようになりました。これら生命情報データを数理・情報科学の視点から研究し、生命現象の理解を目指します。



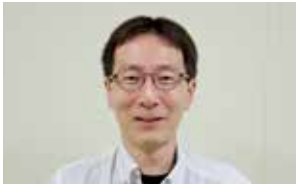
准教授
宮島 洋文
【機械学習、ファジィ推論法、簡易秘密
計算法、並列処理】

クラウドコンピューティングはさまざまな分野で用いられています。機械学習について、計算手順を改良することで、クラウドコンピューティングに適した機械学習の実現を目指します。



助教
加葉田 雄太郎
【特異点論、曲線・曲面論、応用特異点論】

数学はデータ科学や身の回りの物事と密接に関連しています。生活に潜む生き生きとした数学を見つけることもテーマにしながら、特異点やグニャグニャと曲がった図形を研究しています。



教授
高田 英明
【3D 映像、光学デバイス、視覚心理、遠隔
コミュニケーション、映像音響メディア】

人と人とのコミュニケーションでは視聴覚情報が重要な役割を果たします。あたかも目の前に相手がいるかのような3D映像音響やHCI技術を中心に、未来の究極のコミュニケーションを目指します。



教授
宮本 道子
【IT ガバナンス、信用リスク、マーケティング・
サイエンス】

事業戦略とIT戦略の整合性について(企業のIT投資・IT利用について、ITガバナンスからアプローチした研究)、信用リスクにおける中小企業大規模データを使った研究(欠測値に対する対応、コピュラ(複数のリスクを統合した確率分布を推定するための技法)、アンサンブル学習などを応用)、マーケティング・サイエンス(メディアと消費者行動の関連について等)、県民の幸福度、介護職員の満足度など、幅広く研究しています。



教授
持田 恵一
【ゲノム情報科学・バイオデータベース・
遺伝育種学】

生き物の細胞の中では、遺伝子やたんぱく質をはじめとする多様な生体分子がネットワークを形成してはたらくしています。多様な計測機器を使うことで、こうしたネットワークを構成する多様な生体分子の網羅的なデータの収集が可能になってきました。私たちは、計算機を使って、これらのネットワークの構造を推定したり、環境の変化がネットワークのはたらきにどのように影響するかを理解したりする研究を行っています。



准教授
荒井 研一
【情報セキュリティ、暗号プロトコル、
フォーマルメソッド、安全性評価、IoT】

一般利用者が安心して暗号プロトコルを用いたシステムを利用できるように、近年注目されているフォーマルメソッド(形式手法)を用いた安全性評価に関する研究に取り組んでいます。



助教
北村 史
【教育コミュニケーション、授業設計、
ワークショップ】

他者と関わり合いながら学び成長する実践をフィールドとして、より良い学びの場の設計を考えています。また、コミュニケーションにおける身体的作用を念頭においた開発にも興味を持っています。



助教
蘭田 光太郎
【音響情報ハイディング・エンリッチメント、
聴覚情報処理、音響信号処理】

ヒトの音の聴こえかたを AI との違いという観点で研究しています。AI が生音のようなきれいな音を作れるようになりました。AI が生音に似せてつくったなりすまし音を見破れるよう頑張ります！



助教
武田 啓太
【パターン認識、機械学習、医用画像】

科学の知識や経験則を活かした人工知能(AI)や、AI がデータから上手に情報を取り出すしくみを研究しています。ヒトが解釈しやすいようにデータから情報を取り出すことで、様々な分野の発展に役立ちたいです。



助教
眞邊 泰斗
【リコンフィギャラブルコンピューティング、
FPGA、リアルタイム画像処理、機械学習】

自由に構成を変えられる「やわらかいコンピュータ」と、その特性を活かした処理方法(アルゴリズム)を組み合わせ、画像の高画質化や物体認識といった様々な処理を、高速、低遅延に行える仕組みを研究しています。



准教授
一藤 裕
【観光政策、人流解析、ビッグデータ】

IoT から得られる様々なデータを使って、人の動きを可視化したり、データが取れないところを予測するなど、ビッグデータに基づいた現状把握や推定・予測を高精度で実現する方法を研究しています。



准教授
伊藤 宗平
【ソフトウェア工学、形式手法、システム
生物学、プロセスマイニング】

ソフトウェアにバグがないことを保証するための技術である形式手法について研究しています。またその技術の応用として生命システムやビジネスプロセスのモデル化や分析にも取り組んでいます。



准教授
梅津 佑太
【数理統計、機械学習、高次元データ解析】
生物学、プロセスマイニング】

数理統計や機械学習で用いられる手法を理解し実践することはデータ科学の中心ともいえます。よりよく現象を説明するための手法の開発や、その手法の信頼性の評価について研究しています。



准教授
神山 剛
【モバイルコンピューティング、情報セン
シング、データ科学、分散システム】

人間の行動や社会の動きをデータから理解する技術を作り、一人一人に着目した行動支援から地域社会レベルでの課題解決まで、新たなサービスを提案し、スマートシティの実現に貢献します。



助教
ムトゥ スバシュ カビタ
【知能情報学、ディープラーニング、機械学習】

医療や画像のパターン解析において、人工知能の能力を人間の知能に近づけるための戦略を模索することに興味を持っています。

各教員の詳しい
研究内容などは、
ウェサイトを
Check▼



令和6年度入学選抜に関する情報

入学定員

120名

募集人員

- 一般選抜（前期日程）75名、（後期日程）15名
- 学校推薦型選抜Ⅰ8名、学校推薦型選抜Ⅱ12名
- 外国人留学生選抜A（一般枠）5名、B（推薦枠）5名、C（国際バカロレア枠）若干名

一般選抜 選抜方法A（文系受験）	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等		
	教科	科目	配点	教科	科目	配点
前期日程	国	国	100	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B	300
	地歴公民	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2	150			
	数	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B	150			
	理	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2又は物理、化学、生物、地学から1（注3）	100	外	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ	300
	外	英（注2）	200			
	合計		700	その他	ペーパー・インタビュー 調査書	30 20
	合計		700	合計		650
	教科	科目	配点	教科	科目	配点
	地歴公民	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2	200	その他	小論文	200
	数	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B	150		ペーパー・インタビュー 調査書	30 20
	理	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2又は物理、化学、生物、地学から1（注3）	100			
後期日程	外	英（注2）	250			
	合計		700	合計		250

一般選抜 選抜方法B（理系受験）	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等		
	教科	科目	配点	教科	科目	配点
前期日程	国	国	100	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	400
	地歴公民	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1（注1）	50			
	数	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B	200		コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	200
	理	物理、化学、生物、地学から2	200	その他	ペーパー・インタビュー 調査書	30 20
	外	英（注2）	150			
	合計		700	合計		650
	教科	科目	配点	教科	科目	配点
	地歴公民	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1（注1）	100	その他	小論文	200
	数	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B	200		ペーパー・インタビュー 調査書	30 20
	理	物理、化学、生物、地学から2	200			
後期日程	外	英（注2）	200			
	合計		700	合計		250

学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等		
	教科	科目	配点	教科	科目	配点
前期日程	数	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B	200	その他	課題作文	100
	理	物理、化学、生物、地学から1（注3）	100		面接	100
	外	英（注2）	100			
	合計		400	合計		200

- （注1）地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注2）外国語（英語）はリーディング（160点満点）とリスニング（40点満点）の4：1の比率に変更し、その合計得点を配点等欄のとおり換算して利用する。
（注3）理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合
①「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を受験している場合は、高得点科目を採用する。
②「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。



JR をご利用の場合

JR 長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

● 浦上駅から路面電車をご利用の場合 ●

「浦上駅前」から「赤迫（あかさこ）」行き乗車
「長崎大学」で下車（所要時間／約 10 分）

● 浦上駅からバスをご利用の場合 ●

「浦上駅前」から「滑石（なめし）・時津（ときづ）」等方面行き乗車
「長崎大学前」で下車（所要時間／約 10 分）

高速バスをご利用の場合

浦上経由長崎方面行きバス「昭和町（しょうわまち）」で下車し、徒歩で長崎大学東門まで約 15 分あるいは長崎大学正門まで約 20 分

航空機をご利用の場合

長崎空港（大村市）から浦上経由長崎方面行き長崎県営バス「長崎空港リムジン」で「長大東門前（ちやうだいひがしもんまえ）」で下車（所要時間／約 50 分）し、徒歩で約 3 分



ウェブサイト



公式 Youtube



Facebook



情報データ科学部

〒852-8521

長崎県長崎市文教町1-14

TEL:095-800-4190